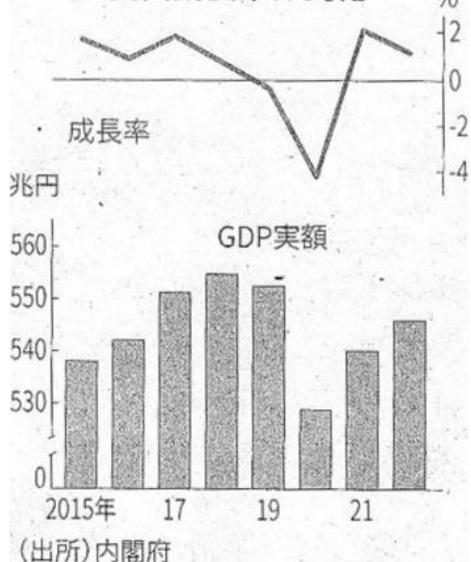


週間国際経済 2023 (5) No.339 02/11~02/21

- 02/12・ロシア単独で原油減産 OPEC、穴埋めせず 一時2%以上上昇
・動画配信野火鈍化、EC1桁成長に コロナ特需企業反動に苦しみ インフレ追い打ち
- 02/13・米家賃上昇 負担感強まる NY市、収入の68.5%で最高
・米軍、飛行物体を撃墜 カナダでも確認 北米で今月4つ目
- 02/14・「植田日銀総裁」国会に提示 政府サプライズ人事 副総裁に氷見野氏、内田氏
来半月ばまでに承認 10年緩和の出口担う 市場のゆがみ限界に
・GDP年率0.6%増 10~12月実質 2四半期ぶりプラス 昨年1.1%増 <1>
・トルコ・シリア死者3.5万人 地震1週間 建設業者らに逮捕状
・「北朝鮮スパイ」大規模摘発へ 韓国尹政権、野党支援の労組に切り込む
- 02/15・米消費者物価6.4%上昇 1月、市場予想上回る 伸び鈍化続く
・中国籍兆候「確認されず」 米政府高官 撃墜の3飛行物体巡り
・インド航空大手、米欧から470機 過去最大級の取引合意
- 02/16・訪日客 進む消費回復 1月150万人 中国除きコロナ前の7割 <2>
・貿易赤字、最大の3.4兆円 1月 円安・資源高響く 輸入は17%増 <3>
・米小売売上高3%増 1月 3ヶ月ぶりプラス 市場予想超えて金利高進む
- 02/17・中国、米国債保有減続く 12年半ぶりの低水準に 昨年末 米中対立でドル離れか
・韓国、最大野党代表の逮捕状請求 総選挙へ与野党攻防
- 02/18・米中対立回避へ対話模索 バイデン氏、習氏と協議意向
撃墜の3飛行物体「中国の証拠なし」 対立ではなく競争望む「新たな冷戦は望まない」
・日銀、弱まるリフレ派勢力 政権が距離、植田氏も見解に相違
・欧州ガス50ユーロ割れ 1年5ヶ月ぶり 貯蓄率高く暖冬で消費少なく
- 02/19・名目GDP、ドイツが肉薄 日本、世界3位危うく インド逆転も <4>
・中国「エネ消費」再起動 原油、年後半100ドル観測 世界のインフレ左右
・欧米と途上国 ロシア包囲で溝 アフリカ2割超「親口」 小麦・肥料の輸入依存
・米、中国と対話再開探る 訪台計画や台湾総統選 緊張の高まりに備え
- 02/20・戻らぬ働き手1000万人 先進国 コロナ前比、求人とミスマッチ <5>
・北朝鮮、ミサイル2発 EEZ外に落下 「戦術核の手段」主張
・新興国、債務危機広がる IMF支援残高最大 G20、財務相会議で協議
・日韓、元徴用工解決へ協議 外相会談 朴氏「政治決断が必要」
- 02/21・米大統領、侵攻後初の訪問「ウクライナ支援で世界結束」 ロシアに事前通告
・「中国、対ロ武器支援を検討」 米國務長官 中国外交トップに警告
・国債、売り圧力やまず 海外勢、1月最大の4.1兆円 日銀新総裁に試練 <6>
・ロシアGDP2.1%減 昨年、欧米の制裁響く 2年ぶりマイナス
・イスラエル入植に「失望」安保理議長声明を採択 米国も同調

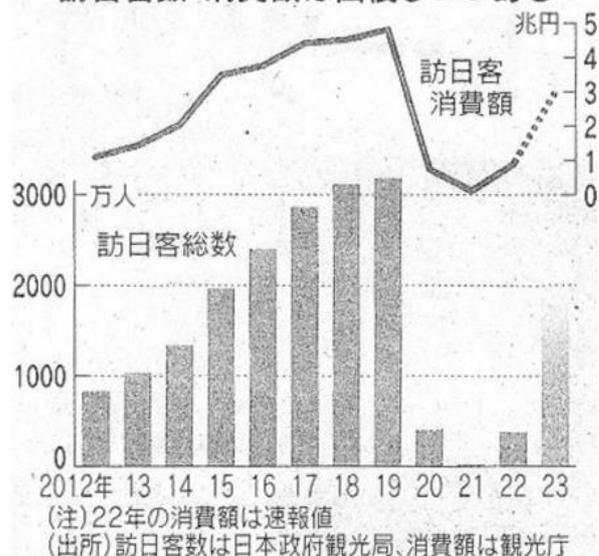
<1>

実質成長率は鈍化



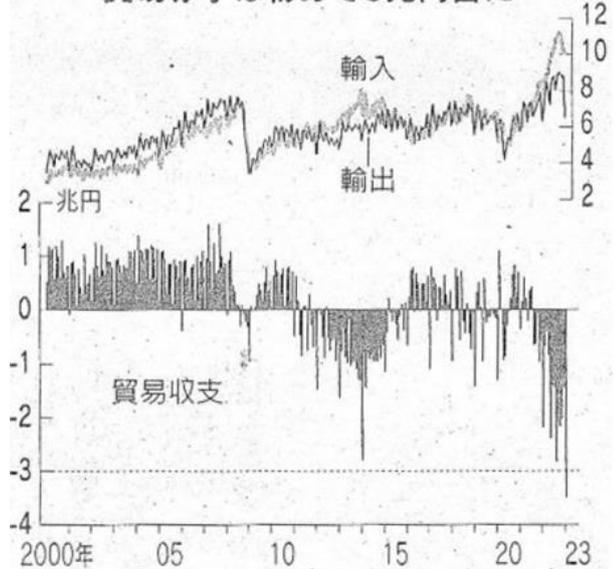
<2>

訪日客数・消費額は回復しつつある



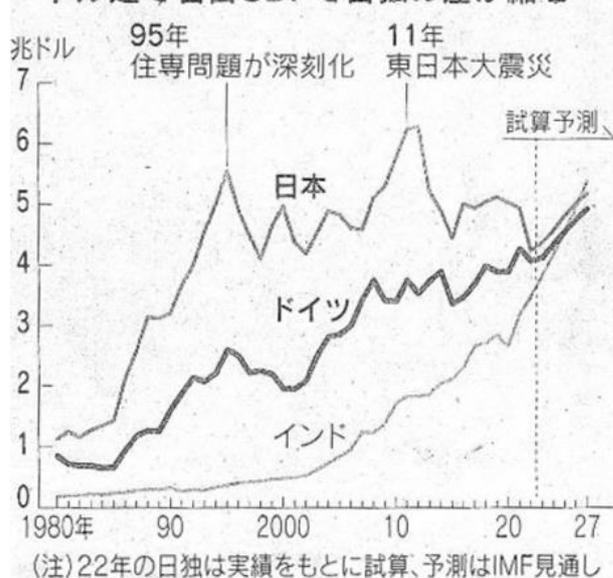
<3>

貿易赤字は初めて3兆円台に



<4>

ドル建て名目GDPで日独の差が縮む



<5>

労働参加率はコロナ禍前より低調



<6>

海外勢の売りが長期金利を押し上げている

